



雄武高校 校訓

風に立て

第 183 号

北海道雄武高等学校

TEL 0158-84-2956

<http://www.oumu.hokkaido-c.ed.jp/>

はつね ウグイスの初音から

校長 富田 真哉

吹きすさぶ風雪の音が、鳥たちの鳴き声に変わった。学校の周りの雑木林に訪れる鳥たちが作り出す音は様々である。今年の始まりは、クマガラが幹をつつく音であった。そうこうしているうちに、雀（スズメ）たちがさえずり出した。つい最近、卵からかえったのだろう。小さな雀たちがあちらで「チュンチュン」、こちらで「チッチ」と鳴いている。雄武町にもようやく春が訪れたのだ。

そう感じた日から数日後、学校の駐車場のそばにあるトドマツ林から、「ホーホケキョ」という鶯（ウグイス）の鳴き声が聞こえてきた。春を告げるその鳴き声に、ふと足を止め、聞き入ってしまった。気がつくやうに、私以外にもカラスやムクドリたちが、電線にとまりウグイスの鳴き声がしてくる方向に頭を向けていた。まるで、その美しい鳴き声に聞き入るように。その小さな体から、なぜこれほどまでに人に「ここにいるよ」と、その存在を主張する鳴き声を出すことができるのか…ふと気になって、ウグイスについて調べてみることにした。

ウグイスという名前の由来は、「ウーグイ」と鳴く「ス（鳥）」という説がある。確かに、「カーラ」と鳴く「ス（鳥）」や「ホトトギ」と鳴く「ス（鳥）」がいるので、この説も分かる気がするが、「ホーホケキョ」が「ウーグイ」にはまったく聞こえない。今も昔も鳴き声は変わらないはずなのだが、何とも面白い知識を得た。また、ウグイスが「ホーホケキョ」と大きな声で鳴くときは、メスへの求愛と他のオスへ自分の縄張りを主張するために鳴くらしい。この鳴き方を「さえずり」と呼ぶのだが、何とも自己主張の強い「さえずり」だと思った。

体長わずか 15 cm ほどの小さな鳥の初音（その年、初めて聞くホーホケキョの鳴き声）から、知的好奇心を湧き上がらせ、ネットなどを検索してみると、大きな知識を獲得することができた。人がものを知り、自分の脳内に宝物として蓄積していく学習の機会は、何がきっかけになるか分からない。

新たな年度が始まった。今年、生徒たちや私を含む先生方が、
どんな新たな知識を得るのか楽しみである。



入学おめでとう

4月8日（水）、多くの来賓、保護者等にご参列いただき、19名の入学を許可すべく、令和8年度入学式が挙行されました。

富田真哉校長は式辞の中で「“自分自身を客観的に見つめる視点”“自らの意志で主観的に行動を起こす視点”を大切にしてほしい。この2つの視点を持って、失敗を恐れず様々なことに果敢に挑戦してほしい」と新入生にエールを送りました。また、高橋健仁町長からは、「知識や考える力を身につけ、情報を見極め、他者と対話し、自分の未来を切り開いてほしい」、大井葉子PTA会長からは「学習、部活動、学校行事を通して自分の持つ才能や能力を大きく開花させてほしい」とご祝辞をいただきました。

新入生代表の生徒は、『風に立て』の校訓のもと、未来のキャリアを豊かにするために、何事にも一生懸命取り組み、一つ一つの行動や発言に責任を持ち充実した学校生活を送る」と力強く宣誓をしました。



ようこそ雄武高校へ！

山田 顕 教頭（理科）
 傍士 成人 教諭（家庭科）
 村田 敬祐 教諭（音楽）
 星野 汐音 教諭（数学）
 紺谷 百花 養郷教諭



新たな仲間が加わって、新生雄武高校がスタートだプチ！

新入生歓迎会

4月9日（木）の6校時、生徒会主催の「新入生歓迎会」を実施しました。各部による部活動の紹介、生徒会執行部が作成した学校行事・生徒会活動の紹介動画を視聴した後、上級生と新入生との交流を深めるための企画としてアイスブレイクを実施しました。アイスブレイクでは、全学年合同のチームを作り、ゲームを行い交流しました。



5月の行事予定

2日（土）開校記念日
 8日（金）高体連壮行会
 12日（火）歯科検診・進路相談会
 15日（金）尿検査③・口座振替日
 19日（火）緑の募金運動（街頭募金）
 21日（木）環境の日（学校花壇整備）
 高体連集約大会【陸上・卓球】（～23日）

23日（土）高3進研模試
 25日（月）1学年レク
 26日（火）保健講話・ほっと（1回目）
 27日（水）きらめき我が町
 28日（木）学校運営協議会①
 29日（金）1学年上級学校訪問
 30日（土）英語検定①



学校 HP の QR コード